

	第 1 号 2026 年 7 月 2 2 日	島根県立三刀屋高等学校 生徒部 人権教育
---	-----------------------------------	---------------------------------

生徒の皆さん、保護者の皆さまへ

暑い日が続きますが皆さんいかがお過ごしでしょうか？おかげさまで 1 学期終業式を迎えようとしています。三刀屋高校での 1 学期の学校生活はいかがでしたか？

さて、このお便りのタイトル「ゆりの木」の由来は、本校玄関前の大きな樹木「ゆりの木」からきています。三刀屋高校の歴史と共に何十年間も生徒の皆さんの入学から卒業までの成長を見守ってくれています。

1 年の家庭基礎の最初の授業で、皆で大きなゆりの木に「3 年間よろしくお願いします。」と大きな声で挨拶をしましたね。花言葉は「幸福」。本校に入学された皆さん全員の人権が守られ、充実し、幸せな学校生活になりますように願い、私たち教職員一同努力いたしますので、引き続き保護者の皆様のご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

学期ごとの本校の人権教育の取り組みをご紹介します。

人権教育 HR 活動の紹介

1 年生 7 月 1 7 日（金）実施

スマホ・ネット安全教室

～情報活用とリスクを考えスキルを身に着けよう～

スマートフォンやタブレットなど便利な情報機器を活用する機会が増えています。わからないことを瞬時に調べ答えのヒントを見つけたり、学習や趣味の幅が広がったり、地球の裏側の人ともつながったり。便利で面白い機器ですが、ひとたび活用の仕方を誤ると、大変危険であり大切な人を傷つけたり人生が一変し命に関わるような取り返しのつかない事例も報告され心配しています。またさまざまな中学校から縁があって本校に入学し、価値観の多様な生徒の皆さんが共に学校生活を送っています。三刀屋高校でのご縁を大切に、情報をどのように活用し、リスクを予想し、生活の中でどのように行動したらよいか、NTTドコモの講師の先生によるオンライン講座に参加し一緒に学びました。

○講座の内容で印象に残ったもの、実際の生活につながることを掲載します。

- ・リスク（危険性）＝起こりやすさ×被害の大きさである。
- ・長時間利用、高額課金、チャットで言い合い、歩きスマホ、知らない人との出会いなど皆が遭遇しやすい例を被害の大きさや、実際自分に起こりそうか、自分事として考えることが大切。
- ・自分が写っている動画を周りの人が発信したら、「何もしない」、「相談する」、「働きかける」のうちどのように行動したらよいか、考え実践することが大切。

○以下は講座で学んだ SNS と上手につきあうための工夫 9 選です。今日からできることから始めてみませんか？

対人編	どこまでやるか表明する アプリの通知制限の活用 不快にさせない断り方を用意
心理編	小さい楽しいものをはさむ やることのリスト化 ご褒美の大小の使い分け
環境編	終わるための合図を決める 時計を近くにスマホを遠くに あえて使いにくくする

2 年生 7 月 7 日（火）実施 教科書無償化運動について

- ① 教科書無償配布の背景に、保護者や教師、地域の人々による子どもたちの進路保障のための運動があったことを知る。
- ② 被差別部落の人々、困難な状況にあった人々の努力が、その後の社会全体の利益につながったことを理解する。
- ③ 差別をなくし、自分たちがよりよく生きていくためには、一人ひとりが声をあげ、周囲と連携していく必要があると気づく。

教科書無償化運動について学ぶことを通じて、「すべての人が平等に学ぶ権利があること」を知り、その権利を守るためには「不平等や差別に気づき、差別を許さないという姿勢を持つこと」が大切だと再認識することを目的として授業を行いました。

生徒たちは、過去の人々の強い気持ちや粘り強い行動が、その後の社会や現在の自分たちのよりよい生活につながったことを感じたようです。今回は身近な「平等に学ぶ権利」について考えました。この学習が、生徒たちが今後「すべての人がお互いの人権を大切にしながら、よりよく幸せに生きる」ために、自分たちのまわりにある様々な不平等や差別に対して、「あれ？変だな。」と気づき、深く学習したり、友人と意見を共有したり、周囲の人々と協力したりして、何らかの行動をしていくきっかけとなしてほしいと思います。



～生徒の感想より～

・今回の授業を通して、なぜ教科書が無償化されたのか、教科書無償化にはどんな思いが込められているのか理解することができました。今では毎日学校に行き、みんなで授業をうけるのが当たり前のようになっています。しかし昔は、学校に行きたくても、学校に必要なものが買えなかったり、家の手伝いをしなければいけなかったりして、学校に行けなかった子どもがたくさんいたとわかりました。今でも海外のどこかの国では同じようなことが起こっていると思います。なので、今当たり前になっている学校生活に感謝して、生活も勉強も部活も全力で頑張っていきたいです。

・今日のグループワークを通して、数年前まで自分が受けていた教育や無償の教科書は、過去にちゃんとした授業を受けられなかった人たちが、必死に声をあげ行動してくれたおかげだと強く実感しました。これからの生き

方として、まずは今ある環境を当たり前と思わず、支えてくれている周りの人や社会への感謝を常に忘れない人間でありたいです。そして、かつての人たちが子どもたちのために必死で活動し得られた「勉強できる機会」を無駄にしないよう、日々の授業に真剣に取り組み、進路に向けた学習により一層励みたいと思いました。

・1960年頃は、家の手伝いやお金の問題で、学校に行くことができない人がいたということがわかりました。もし、自分がその立場だったら、学校に行けない悔しさや、勉強についていけなくなるかもしれない不安を感じ、不平等だと思うかもしれません。このような気持ちにならず、みんなが学校へ行って学べるように、「教科書をタダにする会」が結成され、運動を続けた結果、全国の義務教育で用いられる教科書が無償になったことを知り驚きました。その人たちのおかげで、学校でしっかり学ぶことができる生徒がたくさんいます。その人たちや、無償化を認め、実行してくれた人たちにも感謝したいです。また、これまで自分は、多くの人たちに支えられここまで来ることができたこと、人の支えは欠かせないものだと気づきました。これからは誰かを支えられる人になりたいです。

3年生 7月7日（火）実施

公正な採用選考及び公正な入学者選抜を目指すためにはどのような行動が必要か主体的に考える

3年生の皆さん、5月の体育祭は最高学年としてエネルギーと笑顔にあふれる皆の思い出に残るすばらしい行事となりました。ありがとうございます。日々の学習や部活動はもちろん、進路実現に向け日々頑張っていますね。皆さん一人ひとりの夢が実現できますよう応援しています。今学期のLHRではその進路実現の際に大切な、以下の「就職差別につながる14事項」を学び、実際の就職面接の場面を想定した各担任、副担任のロールプレイを見て、質問内容について適切かどうか話し合いました。本人の能力や適性に関係のないことや本人の責任ではないことが採用選考・選抜につながることは、絶対にあってはならないことです。万が一不適切な質問をされた場合は「その質問には学校の指導によりお答えできません。」とはっきりと答え、学校に報告することが大切です。

「就職差別につながる14事項」

- ① 「国籍・本籍・出生地」に関すること
- ② 「家族」に関すること（職業・続柄・健康・地位・学歴・収入・資産など）
- ③ 「住宅状況」に関すること（間取り・部屋数・住宅の種類・近隣の施設など）
- ④ 「生活環境・家庭環境など」に関すること（本来自由であるべき事項（思想信条にかかわること）の把握）
- ⑤ 「宗教」に関すること
- ⑥ 「支持政党」に関すること
- ⑦ 「人生観・生活信条など」に関すること
- ⑧ 「尊敬する人物」に関すること
- ⑨ 「思想」に関すること
- ⑩ 「労働組合（加入状況や活動歴など）・学生運動など社会運動」に関すること
- ⑪ 「購読新聞・雑誌・愛読書など」に関すること
- ⑫ 「身元調査など」の実施
- ⑬ 「全国高等学校統一応募用紙等に基づかない本人の適性・能力に関係ない事項を含んだ応募書類」の使用
- ⑭ 「合理的・客観的に必要性が認められない採用選考時の健康診断」の実施

～生徒の感想より～

- ・先生方の面接を見て自然な面接だと思ってみたことを恥ずかしく思う。この無知さが知らぬ間に差別につながってしまう根本的な理由だと思う。どう差別につながるか、どんな思いになる人がいるのか想像できる人になりたいし、わからないことは学んで行動したい。
- ・14事項を学び、何かあれば私だけでなく今後受ける人のためにも学校にきちんと報告したい。相手を思いやり自分自身も相手も守るための知識を得ることができてよかった。



人権教育LHR活動年間目標と計画は以下のとおりです。

	1年生	2年生	3年生
年間目標	基礎的な人権感覚の育成	様々な差別について学び考える。	進学就職選考・結婚差別等社会人における学び
1学期	スマホ・ネット安全教室	教科書無償化	公正な採用選考・公正な入学者選抜について
2学期	適切なアサーションを学ぶ。(相手も自分も大切にする伝え方を知る。)	人権教育講演会 「差別をしない生き方」	結婚差別について
3学期	固定観念や偏見について考える。	様々な差別について考える。	人権教育講演会 「生きる」

終わりに

いよいよ待ちに待った夏休みを迎えます。熱中症やケガに気をつけて学習、部活動、進路実現、ボランティア、趣味、遊びと充実した思い出に残る夏休みを過ごしてくださいね。

始業式の日元気な皆さんにお会いすることを教職員一同楽しみにしています。保護者の皆様も引き続きご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

おいそがしいところ「ゆりの木」を読んでもいただきありがとうございました。